

全日本  
民医連  
第45期

## 「3つの役割」実践交流集会



3つの役割実践交流集会  
【青森民医連から参加した7名の事務職員】

今回青森民医連からは7名の事務職員が参加し、4つの演題を発表しました。そのうち、あおもり協立病院から参加した岩葉庶務課長の発表として提起したものです。

「3つの役割」とは、①「正確な実務と統計・情報管理を担い、それを通して全職員参加の医療・介護事業と経営の前進に貢献すること」、②「無差別平等の医療と介護の深化・発展のために、民主的な多職種協働と人づくりをささえること」、③「日本国憲法の立場から平和と社会保障拡充の運動を積極的にすすめる、共同組織とともに安心して住み続けられるまちづくりの活動の推進者となること」を、民医連事務集団の役割として提起したものです。

3月24日(金)～25日(土)、東京(タイム24ビル)にて全日本民医連第45期「3つの役割」実践交流集会が開催され、全国から168名の事務職員が参加しました。参加対象はおおむね10年目までの若手事務職員で、この規模での集合形式の開催は約3年ぶりとなり、久々の全国規模の集会にて多くの学びや交流を深めることができました。



3つの役割についてグループ討論しました

「経営の一翼を担うために」が見事優秀賞に選ばれ、全日本民医連増田会長より表彰を受けました。日々の取り組みを持ち寄って発表しあい、学び合うことを通して、民医連事務としての確信を深めると共に、多職種協働における事務の役割を認識し、持ち帰った学びを新たな実践につなげていく契機とすることができました。

(あおもり協立病院  
事務次長 佐々木聖)



3つの役割実践交流集会【全大会の様子、全国から168名が参加】

# 2023年度 入職おめでとう

## 津軽保健生活協同組合 入職者数 27名



- 医師 2名
- 看護師 13名
- 准看護師 1名
- 理学療法士 3名
- 作業療法士 2名
- 臨床検査技師 1名
- 診療放射線技師 1名
- 言語聴覚士 1名
- 臨床心理士 1名
- 調理師 1名
- 事務員 1名

## 青森保健生活協同組合 入職者数 27名



- 看護師 16名
- 介護福祉士 4名
- 理学療法士 2名
- 作業療法士 1名
- 臨床検査技師 1名
- 薬剤師 1名
- 事務 2名

## 社会福祉法人虹 入職者数 4名



- 福祉用具専門相談員 2名
- 看護師 1名
- 生活支援専門員 1名



# 2023年度 新入職医師紹介



宮澤千裕 出身 東京都

はじめまして。初期研修医の宮澤千裕と申します。東京で育ち、弘前大学入学を機に弘前へ来ました。アスファルトに囲まれて育った私にとって、弘前の四季折々の自然や文化的な街は魅力に溢れていました。大学生活を通して沢山の繋がりができた弘前はとても大切な場所です。地域に愛され、地域に貢献する健生病院の一員として働けることを誇らしく思います。誰もが安心してかけられる病院を目指して、努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



相内 一朗 出身 大阪府

こんにちは。四月より初期研修医として入職いたしました、相内一朗と申します。青森県六ヶ所村生まれの父と韓国人の母の元に大阪府で生まれ、ソウルと関西で育ち、弘前大学への入学を機に青森へ参りました。学生の頃からお世話になった健生病院で、医師として将来青森県の健康・医療に貢献できるような人材になるべく、日々精進させていただければと思います。至らない点多々あるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

## 新入職員 代表者紹介

### 株式会社ファルマ



ファルマ弘前薬局  
薬剤師 外崎 佳奈

4月からファルマ弘前薬局に薬剤師として入社しました、外崎佳奈です。

東北医科薬科大学卒業で、趣味は散歩をして美味しい食べ物やお気に入りのお店を見つけることです。

まだまだ慣れないことも多いですが、薬局の皆様に指導していただきながら、少しずつ成長していきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いたします。

### 社会福祉法人・花



日中サービス支援型共同生活事業所「花の郷」  
世話人 小山 慧

今春に花の郷に入職しました。未経験の分野に取り組むにあたって緊張でいっぱいでしたが、先輩方の丁寧な指導に加え利用者の皆さんの気遣いにも助けられ、日々を過ごしています。新しい環境に一日でも早く慣れて、社会福祉という責任ある仕事を担える人材に成長する所存ですので、どうかよろしくお願致します。

### 津軽保健生活協同組合



健生病院 手術室  
看護師 山本 晴香

健生病院手術室に配属となりました。患者さんの心身に寄り添うことができる看護師を目指し、日々たくさんの方のことを学んで一歩ずつ成長していきたいです。また、生まれ育った地域の医療に貢献できるよう、精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。

### 青森保健生活協同組合



生協さくら病院 2病棟  
看護師 宇野 なつみ

4月に生協さくら病院に入職しました、宇野なつみです。不安だらけの毎日ですが、先輩方がとても優しく指導してくれ、積極的に勉強ができる環境です。これからは病棟の先輩看護師さんの背中を追いかけながら頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。

### 社会福祉法人虹



福祉用具サービスセツ星  
福祉用具専門相談員 高橋 真士

この度、福祉用具専門相談員として福祉用具サービスセツ星に入職した高橋真士と申します。身体状況や住宅環境など考えながら一人ひとりに合った福祉用具を選んでいきたいと思っております。福祉用具を通して、利用者様の日々の生活サポートしていき、毎日安心した生活を送ってもらえるように頑張ります。宜しくお願致します。



# さようなら 原発核燃3.11 青森集会

3月5日に青森市にて3年ぶりに現地開催となり、県内外から約400人が集まりました。集会では、大飯原発運転差し止め判決を出した元福井地裁裁判長の樋口英明氏の講演があり、原発施設の見当はずれの低い耐震性や使用済み核燃料は科学的には処理できないことが判明され、原発は自国に向けられた核兵器だと話されました。各地からの報告を受け、県核ゴミ条例制定賛成議員からの特別報告がありました。集会決議文の採択後、青森市内のデモ行進を行い、県庁正門前にてシュプレヒコールを上げました。

本集会において、危険で必要のない原子力施設の廃止と操業中止を求め、未来の子どもたちが安心して暮らせる青森県にするための再確認をすることが出来たと感じました。

(青森民医連 次長 対馬康文)

## いのちのとりで裁判 青森



2023年3月24日午前11時、青森地方裁判所は、保護費の減額処分を言い渡しました。県内各地から約100名の参加者が裁判所に詰めかけ、判決を待ちました。外で待機していた人たちの前に「勝訴判決」の旗を持って走ってきたとたん大歓声が上がりました。その後、デモ行進を行い、宣伝カーと原告を先頭にシュプレヒコールしながら行進しました。弁護団か



ら本日の判決内容について「裁判長は、国の判断は、客観的数値などとの合理的関連性を欠き、専門的知見との整合性を有しないもので、判断の過程に過誤、欠落がある」と指摘したとのことでした。7年の長きに渡る闘いが実りました。同日には和歌山地裁でも勝訴判決が言い渡され、全国で67例目の勝訴判決ともなりまし

(青森民医連 次長 対馬康文)

# 薬剤師中期研修・ 拡大薬剤師管理者研修

発達障がい、二次障がいの防止、  
個人の尊厳や多様性への理解

3月4日(土)、オンラインにて2022年度薬剤師中期研修・  
拡大薬剤師管理者研修を開催し、職員51人が参加しました。講  
師には、生協さくら病院 副院長 小山 智教医師を招いて講演し  
ていただきました。

「発達障がい」は、精神疾患  
や環境・虐待といった様々なこ  
とが複雑に関与する複雑で難し  
い病気ですが、小児だけではなく  
成人の患者数も増えている現  
代において、正しい認識を持ち  
行動するために、今回の研修は  
大切な時間となりました。

難しいテーマだっただけに、  
グラフや表を交えたスライドを  
提示して頂いたことは、参加者  
の理解の手助けとなりました。  
また、症例だけではなく、治療  
転機についてのデータも提示し  
て頂き、治療後の経過を詳細に  
知る有意義な時間でした。

発達特性と生活環境のミス  
マッチにより起こる生活障がい、  
それが発達障がいであるのな  
ら、私たち医療従事者はそのミ

スマッチな部分を少しでも緩和  
できるような支援・手助けので  
きる存在でありたいと思います。  
症状や病状により、「生活しに  
くい、生きにくい」と感じてし  
まう方々が一人でも減少するよ  
う真摯に向き合い考えること  
ができる重要な講演でした。

障がいや疾患の有無に関わら  
ず、誰もが安心できる繋がりを  
持てるような世の中へとなるよ  
う、参加者全員で活発なディス  
カッションを行いたい所ではあ  
りましたが、コロナ禍によるオ  
ンライン開催のため、そのよう  
な時間をあまり設けることが出  
来なかった点が悔やまれる研修  
でした。

(大野あけぼの薬局

石田綾佳)

「心理的安全性のある職場づくりのために」～自分自身のメンタルケアから始めよう～

2022  
年度

## 県連看護学生委員会合同総括会議

2月25日(土)、浪岡中央公民館で2022年度県連看護学生委員会合同総括会議を開催し、青森保健と津軽保健の看護学生委員21名が参加しました。講師に、藤代健生病院 デイケア科の西澤望氏、臨床心理士の小林千緩氏・大友彩氏を迎え、「心理的安全性のある職場づくりのために」～自分自身のメンタルケアから始めよう～をテーマに講演していただき学習と、スモールグループディスカッションを行いました。

「対面で意見交換や交流をしたい」と強い希望があり、感染状況が落ち着き始めた時期と重なり、3年振りに対面形式の1日研修の企画で開催する事ができました。

講演では、自分ストレス発散方法をグループワークで情報共有、コーピングはたくさん用意しておくが良いという事を学びセルフケア方法として大変参考になりました。

また、心理療法で用いられる技法を学び、患者さんへの対応や新人教育の傾聴や言葉がけのヒントを得ることができました。

スモールディスカッションでは、コロナ禍の看護活動で苦勞した事や悩み、看護学生対策で取り組みたい事に

ついて討議しました。

対面開催で行えた事で、お互いの悩みや表情を読み取りながらコミュニケーションをとり、今後の課題について話しあうことができました。

「法人が違う委員や同じ法人の委員とも情報交換ができ、モチベーションアップに繋がった」などの感想文から、対面でのグループワークの大切さを改めて感じました。

新年度より一層、委員ひとりひとりが心理的安全性のある職場づくりに貢献していくことを期待したいと思います。

(青森保健生協 看護師対策看護長 須藤千夏)



3年振りに対面で開催できました(嬉しい)



スモールグループディスカッションの様子

# 「民医連の一員として活動していきたいと思った」

対面と対話にこだわった2023年の医学対新歓の取り組みを通じて、2月以降12件の奨学金制度説明会をおこなっています。この背景は県連大運動として位置づけられた弘前大学一般入試での職員による資料配布と対話アンケートが大きかったと考えます。また奨学金説明会で法人幹部から語られた青森民医連の理念と医療活動が、新入生の医療像に共感したことも重要でした。他にも高校生対策のつながりから奨学金申請に至った新入生も含めて、青森民医連は新たに5人の医学科奨学生を迎える予定となっています。

奨学金申請に際しては、事前の面談・民医連レクチャー・病院実習・奨学生活動などの参加を可能なかぎり早い段階から位置づけました。体験と学びを重ねることで新入生のなかで民医連に対して以下のような共感の言葉が出されました。

「無差別平等の医療の実践のため差額室料をとらない姿勢に共感した」

「民医連の奨学生活動を通じて、患者を大切に！患者目線で医療をおこなう医師になるという自分の理想の医師像に近づきたいと思う」

「民医連の歴史や理念や活動を知ることができ、ますます民医連の一員として活動していきたいと思った」

奨学生としての活動や関わりは短いなかでの発言です。この新入生の初心と共感を確かなものにするため、実りある医学対活動をつくっていききたいと考えます。

また奨学生確保に留まらず1人でも多くの医学生とつながり、青森県の医療を良くするためのパートナーとして医学生の成長を応援する活動も広げていきたいと思えます。

(青森民医連 原圭輔)



医師体験に参加する新奨学生



新入生合格おめでとう会

## 看護系進学決定高校生企画 「合格おめでとう会」を開催

看護学生新1年生として少しでも不安を減らし新しいスタートがきれるよう応援します



奨学生が熱心にベッドメイキングを指導



3月25日(土)、あおもり協立病院の多目的室で、「合格おめでとう会」を開催しました。これまで「高校生看護体験」や「ナースのたまごセミナー」に参加し、看護大学や看護専門学校に合格した新1年生8名と、看護奨学生7名、看護学生委員3名の計13名が参加しました。

まず初めに看護学生対策委員会を代表して須藤看護長より奨学金制度の紹介があり、その後看護奨学生から「看護学生の授業、実習についてのアドバイス」というテーマで、新1年生に向けて、学校での授業・実習の様子やテスト対策・サークルやアルバイトなどについて発表がありました。その後の懇談では新1年生から、今後についての様々な悩みや不安が聞かれ、奨学生が懸命にアドバイスをを行いました。また、入学後1番最初に行う実技演習「ベッドメイキング」の実践を行い、終了後のアンケートでは「楽しい雰囲気です、良かったです」などの感想を頂きました。コロナ禍で交流の場が減っていましたが、看護学生委員、看護奨学生、新1年生の貴重で良い交流の場になりました。これからも企画にお誘いし、応援していきます。(あおもり協立病院 金谷史紗)

### 新1年生

## 薬学生奨学生歓迎会

この春大学に入学し新たに誕生した4名の県連薬学生奨学生歓迎会をwebで開催しました。新たな出発を祝うため先輩奨学生9名、薬学生委員7名、そして国家試験に合格した新卒薬剤師2名が参加し、総勢22名の歓迎会となりました。

歓迎会の最初に新奨学生が4名誕生したこと、奨学生全員が進級したこと、2名が国家試験に合格したことを、参加者全員で喜びあいました。その後、薬学生委員、新卒薬剤師、奨学生(学年上から新1年生へ)と順に自己紹介をしていきました。自己紹介では定番の趣味・特技から始めていきました。それぞれの紹介の間に、職員は職場の紹介、新卒薬剤師には国家試験をどうのりきったか、奨学生には出身高校や今年この目標を話してもらいました。奨学生には特に国家試験をどうのりきったかがとても参考になったようです。

薬学生奨学生は青森大学生が多くなっています。が、県外奨学生も参加できる機会をつくることや5年生の実務実習期間中に大学を離れても参加できるよう、今年度もwebで奨学生会議をおこなうこと、5月は「薬害」をテーマとした学習会をすることを伝えました。また、春の統一地方選挙前半が終わり、後半の統一地方選挙や県知事選も控えているため、選挙には必ず行きましようと思えました。

(青森民医連 立花典明)



# 「旧優生保護法下における 強制不妊手術問題に対する見解」

学習運動が  
始まります！

～みなさん「見解」ブックレットはお手元にありますか？～



全日本民医連は昨年2月5日に出された「見解」のなかで、「旧優生保護法の歴史経過における民医連の反省と謝罪を踏まえ、人権と倫理に関する職員学習を組織的に強化し継続する」ことを強調しています。これを受け青森県民医連では、学習推進委員会を立ち上げました。

旧優生保護法の問題は、障害者の存在を否定し、差別を助長したこと、国家がいのちの価値を序列化し選別したことです。人権擁護を高く掲げてきた民医連であるからこそ、この問題を深く受け止め、今後同じことを繰り返さない教訓となるよう学習をすすめていきます。

【目標】  
①全職員（臨時・パート含む）が旧優生保護法下における強制不妊手術問題について学びましょう。  
②学習会への参加や職場での討議等で民医連の立場から人権と倫理について深めあいましょう。  
※期間は2023年4月～2024年2月末です。  
6月1日（木）キックオフ学習会を皮切りに、職場管理者・職場管理補佐研修が始まります。「見解」の理解を深め、職場討議の牽引をお願いいたします。この問題が大事だと思っ人増やし、共に学びながら人権意識・倫理観を高めていきます。

（青森民医連 相馬志保）

## 青森事務所移転のお知らせ

このたび2023年3月20日をもちまして事務所を下記のとおり移転しました。  
引き続きよろしくお祈いします。



**民医連 青森県民主医療機関連合会**  
移 転 先 〒030-0803 青森市安方1丁目11-6  
安方クリニック 1F  
電話番号 (017) 723-4076  
F A X (017) 773-5326  
※電話・FAX番号に変更はございません。

## 県連事務局人事往来

帰任先	帰任日
伊藤しのぶ 株式会社ファルマ	5月1日

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

### いつでも元気

MIN-IREN

2023 6月号 380円 **好評発売中**

民医連70年 希望を創る

けんこう教室 新型コロナ 何が変わる？

きらきら発電 宮城

レッツ脳トレ

まちのチカラ 広島県安芸太田町

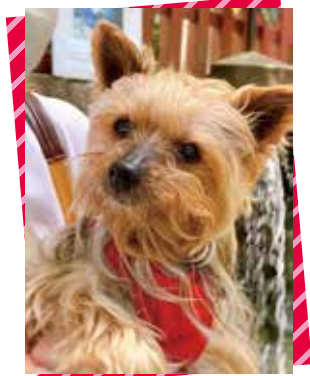
食と健康 菌の健康と食生活

発行＝西保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657

新入職員のみなさま入職おめでとうございます。  
あなたと民医連をつなぐ月刊誌「いつでも元気」の購読をお薦めいたします。県連奨学生（医師、薬剤師、看護師）も愛読しています。新入職員のみならず、まだ購読されていない職員の方は、ぜひ購読をお願いします。取り扱いは各法人本部担当者がおこなっていますので、お尋ねください。

# うちの メコッコ

vol. 72



同じヨークシャーテリアでも性格は正反対の2匹。ココアは昔から自信たっぷりで気が強く、「私を撫でなさいよ」と言わんばかりに誰にでもお腹を出していましたが、大吉くんはかなりの内弁慶。外では弱気ですが、お家の中では番犬(?)として背筋を伸ばして窓の外を見張っています(たまに舌が出っぱなしになっていますが…)。

♥ **name**  
ココア ♀  
(ヨークシャーテリア)

♥ **age** 17歳

そんな2匹の家族は我が家のアイドル。いびきをかいて寝て

いる姿を見ると、可愛くて仕方がありません。

(藤代健生病院 小林千緩)

♥ **name** 大吉 ♂  
(ヨークシャーテリア)

♥ **age** 5歳



## 私の三つ星★★★★

### オススメ ピザのリファインド

私のお気に入りのお店を紹介します。

青森市富田にあるピザ屋・喫茶店の「ピザのリファインド」です。お店の外観は写真を参照ください。

店名の通り、美味しいピザやコーヒーをいただくことができます。店内の雑貨もおしゃれで可愛く、居だけで癒される素敵な空間です。

リファインドのピザは、厚みのある生地でフワフワもちもちの食感がクセになります。私のおすすめは「ベーコン

ピザ」です。柔らかい生地にかリカリのベーコンがアクセントとなり最後まで飽きずに美味しくいただくことができます。他にも、ポテマヨ、テリヤキ、シーフード、ミックスなど様々な種類のピザがあります。

日曜日と月曜日が定休日、営業時間は午前11時～午後6時までとなっています。テイクアウトでも注文することができるそうなので是非食べてみてください。

(青森保健生協 組織部 鳴海騎士)



## 5月 2023年5月 第56期第13回理事会報告

>> 会長あいさつ

>> 全日本民医連理事会報告関係

>> 決済事項

奨学生関係

県連・地協・全日本関係

>> 協議事項

県連臨時総会について

6、7月の理事会・常任理事会日程変更について

新型コロナウイルス対応について

>> 県連医師委員会関連

>> 各種委員会

各種委員会報告・署名到達

>> 報告事項

全日本民医連通達・声明、地協関係

共闘関係

県連関係

>> 各法人・事業所報告